



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工先端研究特論)

神経細胞における遺伝子座核内配置と 転写制御との関連

演者

滝沢 琢己 先生

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野准教授)

日時

2016年7月7日(木) 17:30 - 19:00

会場

東京医科歯科大学M&Dタワー9階 大学院講義室4

講演要旨

遺伝子の発現制御には、転写因子の活性化に加えて、エピジェネティクスなどのクロマチン修飾が大きな役割を果たしている。近年、これに加えて遺伝子座の核内での空間配置も重要であることがわかってきている。我々はこれまで、アストロサイトおよびニューロンの分化成熟過程に焦点を当て、遺伝子発現と遺伝子座空間配置について検討して来た。アストロサイト分化過程での chromosome conformation capture 法によるアストロサイト特異的遺伝子と隣接して存在する遺伝子群の同定や、ニューロンの成熟過程における遺伝子座核内配置変化と遺伝子発現との関連などに関する我々の最近の研究成果について紹介したい。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

連絡先：神経機能形態学分野 寺田純雄 Tel: 5803-5149

ONSA (代表：神経病理学分野 岡澤 均)
事務局：神経機能形態学分野 (田口・寺田) phone: 03-5803-5149
FAX: 03-5803-5151, E-mail: onsa-office@umin.ac.jp